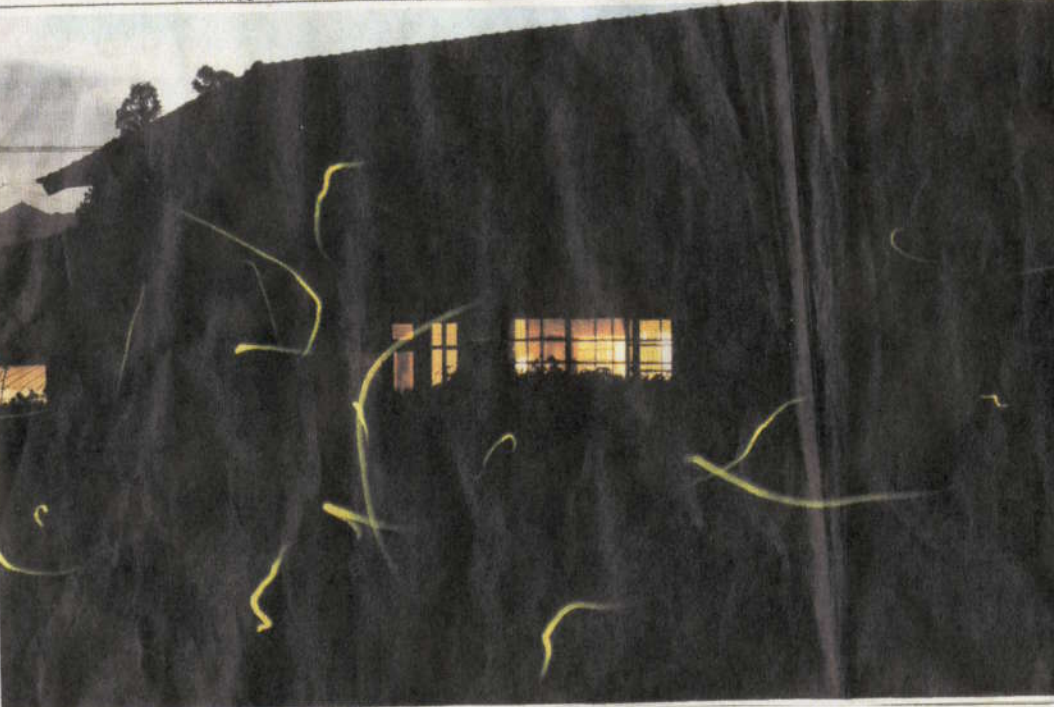


「アスファルトの匂い、そのほかにも、大津田の田舎の阿蘇郡那珂村阿蘇の中津地区、東京出身の大津耕太さん(32)と、東京出身の愛梨さん(33)の夫婦が、田舎の生活を送りたいという思いで、阿蘇に移住した。阿蘇の生活は、水田の光景が美しい。水田の土壌は、50年以上前から、天の恵みで、稲作の歴史が長い。耕太さんは「阿蘇の生活は、水田の光景が美しい。水田の土壌は、50年以上前から、天の恵みで、稲作の歴史が長い。耕太さんは「阿蘇の生活は、水田の光景が美しい。水田の土壌は、50年以上前から、天の恵みで、稲作の歴史が長い。」

基本は米作と牛
住人が少ない、田舎の生活。多様な作物が育てられる。大津夫妻が住む阿蘇郡那珂村阿蘇の生活は、水田の光景が美しい。水田の土壌は、50年以上前から、天の恵みで、稲作の歴史が長い。耕太さんは「阿蘇の生活は、水田の光景が美しい。水田の土壌は、50年以上前から、天の恵みで、稲作の歴史が長い。」

半農半X
「半農半X」という言葉がある。大津夫妻は、農的生活をベースに、Xの部分で自由に暮らしている。農的生活をベースに、Xの部分で自由に暮らしている。農的生活をベースに、Xの部分で自由に暮らしている。農的生活をベースに、Xの部分で自由に暮らしている。

**02(オーツ)ファーム
大津耕太さん(32)、愛梨さん(33)夫妻**



大津夫妻が住むオーツファームの奥の部屋。奥にも水田の土壌が、稲作の歴史が長い。ぜひ大津夫妻の生活スタイルを参考にしてください。

**縁側からホタルの光も
理想は「みんなの実家」**



母親の愛梨さんが見守る中、田んぼでどろまみれになって遊ぶ子ども

の生きがいのための活動をする。大津夫妻は、阿蘇の生活を送りたいという思いで、阿蘇に移住した。阿蘇の生活は、水田の光景が美しい。水田の土壌は、50年以上前から、天の恵みで、稲作の歴史が長い。耕太さんは「阿蘇の生活は、水田の光景が美しい。水田の土壌は、50年以上前から、天の恵みで、稲作の歴史が長い。」

**阿蘇にくらし
阿蘇をつくる**
—若き移住者たち—
design by maashiro TAM TA



アイカを水田に放す耕太さん(外観に写れば、しっかりと草をまわってくれ)

※まにちコムでも掲載しています。アドレスは<http://www.kumanichi.com/>